



人権啓発課  
☎ 32-1708 FAX 32-0110  
✉ jinkenkeihatsuka@city.uki.lg.jp

## ジェンダーの視点で防災・復興を考えよう

これまでの災害現場では、意思決定の場に参画する女性の割合が低く、女性と男性のニーズの違いなどが配慮されないといった課題がありました。そのため災害時には、女性用品や子育て・介護用品の不足、衛生面の不安などの問題、プライバシー・安全性の課題やケア労働の過度の負担・DVや性暴力の増加といった問題が女性に降りかかっていました。

女性も防災・復興の主体的な担い手です。災害対応に女性の視点を生かすことは地域の防災力向上につながります。まずは日頃から女性と男性が共に参画する体制を作りましょう。



### POINT 災害時、女性の視点を生かすポイント

- 1 防災・復興に関する意思決定の場への女性の参画を推進**  
防災会議への参加や自治会役員に占める女性の割合を高め、多様なニーズ・リスクへの対応力を高める。
- 2 防災の現場で女性の参画を拡大**  
自主防災組織、消防団、災害発生時の避難所などの現場へ女性が数多く参画することで、女性の視点や意見を反映しやすくし、ニーズや女性への影響に配慮した細かな支援につなげる。
- 3 女性活躍への支援と意識改革**  
自治会や自主防災組織で活躍する女性を支援し、女性も主体的な担い手であることや女性視点の重要性についての意識を改革する。

**消費者トラブル 注意報**  
工商観光課 ☎32-1604

## スポーツジムなどの契約トラブルに注意

**事例** スポーツジムやヨガ教室などで「割引や特典付きの契約をしたが解約を申し出ると違約金を請求された」「解約をしたはずが、料金の引き落としが続いていた」「体験やお試しプラン終了後に通常プランに自動更新されていた」というトラブルが多発中。

- ！ アドバイス** 次の点に気を付けましょう。
- 契約前に解約時の連絡先や精算方法、プランの期間などを、お試しプランは自動更新の有無などを確認
  - 解約するときは、手続き方法や申し出期間を十分に確認
  - 事業者と連絡が取れない場合、複数の連絡手段で問い合わせる
  - 不安に思ったときは早めに相談

相談は **宇城市消費生活センター ☎33-8277** へ  
日時 平日10時～12時、13時～16時

かしこくみんなの **年金学**  
熊本東年金事務所 ☎096-367-2503  
今月の年金相談は **要予約**  
2日・23日 ☎  
10時～15時 新館第5会議室

## 国民年金の加入 手続き忘れていませんか

**国民年金** 国内に住む20歳以上60歳未満の全ての人  
が加入。被保険者の種別は次の3つ。

1号被保険者	2号被保険者	3号被保険者
農業者・自営業者・学生・無職の人など	会社員・公務員など	2号被保険者に扶養されている配偶者

### こんなときどうする？

退職した	▶ 第1号の資格取得 (被扶養配偶者も同様)
厚生年金に加入する配偶者の扶養から外れた	▶ 第3号から第1号へ種別変更
海外に居住する	▶ 第1号被保険者の継続加入(任意)

申請先 年金事務所、医療保険課・各支所

## 使ってみよう 公共交通

市の公共交通の今を隔月でお知らせ



企画課 ☎32-1902

バスきたく  
くまさん HP



県内で運行しているバスの現在位置を、スマートフォンやパソコンで場所や時間を問わず確認できます。



check!  
バスの利用が更に便利に  
バスきたくくまさん

**バスの乗り方を紹介します**  
路線バスでは、利用者の減少が続いており、バスに乗ったことがない、乗り方が分からない人が増えています。そこで今回、バスの乗り方を紹介。暖かな気候になるこの時期に、バスでおで掛けしませんか。

### バスの乗り方

- 1. 乗車する**  
乗車口から乗り、整理券を取る。またはカードリーダーにICカードをタッチして乗る。
- 2. 降車ボタンを押す**  
目的地バス停の案内放送が流れたら降車ボタンを押して降りることを知らせる。
- 3. 運賃を確認する**  
整理券の番号を確認し、前方の運賃表で運賃を確認する。
- 4. 支払って降りる**  
到着したら運賃箱に整理券とお金を入れる。ICカードの場合はカードリーダーにタッチして降りる。

## 郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわる  
さまざまな文化の魅力を発信します

### 郷土資料館



開館時間 10時～17時  
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)  
住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

## 不知火現象の謎を科学で解明



文化庁長官賞を受賞し喜ぶメンバー  
※宇土高校科学部地学班提供

えいのおつるぎじんじや  
永尾神社周辺での不知火海観測

八代海(不知火海)北部には毎年旧暦8月1日(八朔)の夜間、不知火と呼ばれる光が現れます。不知火は、漁火や対岸の街明かりなどが日中暖められた空気と夜間の放射冷却による複雑な空気層を通るときに、異常屈折して起こる蜃気楼現象の一種。しかし、この現象がどのように発生しているのか完全には解明されていません。

この謎について、宇土高校の科学部地学班が6年間、観測や室内での再現実験などを続け、現象が発生する条件を研究しています。この研究は、現在不知火現象に関して行われている唯一のもので、文化部のインターハイと呼ばれる令和5年度第47回全国高等学校総合文化祭で、文化庁長官賞を受賞しました。受賞したポスターは松合郷土資料館で9月29日⑩まで展示されています。不知火現象について理解を深めるまたとない機会ですので、ぜひご来館ください。

### 松合郷土資料館 ☎42-3560

開館時間 10時～17時  
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)  
住所 不知火町松合136-1  
入館料 無料

